

新教育センターの基本設計の公表と 愛称の募集を行います

子どもの成長を支える教職員のさらなる資質向上を実現するとともに、GIGA スクールなどの新しい教育に対応する施設として、令和8年度末に供用開始予定の新教育センターについて、この度、基本設計をとりまとめましたので公表します。また、新教育センターの愛称を募集します。

1 基本設計の公表

(1)概要

整備地：岡山市北区富吉 2707 番 9
敷地面積：3,500 m²
延床面積：3,328 m²
構造：鉄骨造3階建て
概算工事費：約17億円
設計業者：株式会社山陽設計

(2)公表資料

別紙のとおり

詳細は、ホームページから見るができます。

<https://sites.google.com/giga-city-okayama.jp/kyouikucenter>



2 愛称の募集

(1)募集期間

令和6年7月～9月

(2)応募方法

専用フォームより応募

専用フォーム

(3)愛称決定・公表

令和6年11月頃を予定

(4)備考

- ・どなたでも応募できます。
- ・お一人で、何回でも応募できます。(1回の応募につき、1つの愛称を記入)



3 その他

- ・研修室の数や収容人数の不足などから、研修内容に制限がかかっていた現・教育センター（東区向州）の研修環境の見直しを図るために、令和4年度に新教育センターの基本方針を策定し、令和5年度から整備を進めています。新教育センターでは「高める」「創る」「応える」をコンセプトに、教職員だけでなく、岡山市の子どもたちを支える大人がスクラムを組む場所にしていくことを目指しています。
- ・設計業者である株式会社山陽設計への問い合わせはご遠慮ください。
- ・上記の公表資料は現時点のものであるため、今後内容が変更となる場合があります。

【問い合わせ先】

岡山市 教育研究研修センター 村尾 直通086-803-1296 内線4887

岡山市教育センター（仮称）基本設計概要

主な居室と機能

イメージ

階	居室名称 ※太字は新設	主たる機能
3	大研修室	研修
	ホワイエ（コミュニケーションスペース）	相談
	中研修室	研修
	オープンインベシヨナルーム×2	研究 大学連携 企業連携
2	大学連携&ディスカシヨナルーム	大学連携 研究 相談
	情報教育演習室（未来の教室）	情報教育推進 研修
	情報教育推進室、機器保管室	情報教育推進
	ホワイエ（コミュニケーションスペース）	相談
	就学相談ルーム	相談
1	スタジオ（オンライン配信ルーム）	情報教育推進 研修
	オンライン研修スペース	研修
	教科書センター、授業開発支援スペース、執務室	研究 相談

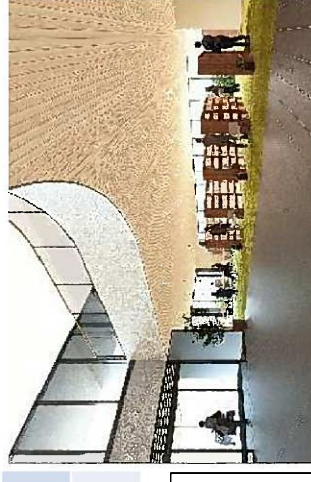
<基本情報>
 整備地：岡山市北区富吉2707番9
 敷地面積：3,500㎡
 延床面積：3,328㎡
 設計業者：株式会社山陽設計



外観



内観（2階・情報教育演習室）



内観（1階・エントランス）

<環境への配慮>

- ・一次エネルギー消費を抑制するZEBready以上の性能
- ・周辺環境と調和する、木目（CLT構造）を基調とした外観

<教育DXへの対応>

- ・端末を使用したペーパーレス研修を実現する全室Wi-Fi完備

※各イメージ図ならびに居室名称等については、基本設計時点のものであり、今後、実施設計で詳細を決定していくため、変更になる可能性があります。

岡山市教育センター（仮称）が目指す姿

大人がスクラムを組み、岡山市の**子ども**を支える

コンセプト①
資質や
能力を
高める

研修

- 個別研修にも対応した、自主性が高まる研修空間の提供
- 情報教育推進**
- 体験的なICT活用研修が可能となる最新のICT環境整備
- 相談**
- 学校や立場を越えた、積極的な意見交流のスペース確保

学校で支える

教職員

コンセプト②
新しい
学びを
創る

研究

- 教育課題解決や授業など、大学等と協働研究する拠点
- 大学連携**
- 専門的知見をもとに、大学(学生含む)と協議し合う場
- 企業連携**
- 社会課題や最新技術が身近になる授業やイベントの実施

地域で支える

大学・企業

コンセプト③
悩みや
願いに
応える

相談

- 就学等の相談に、常時対応可能な相談ルームの設置
(オンライン・対面併用)
- 幼児教育と小学校教育、両方の立場で助言可能な相談体制の確立

家庭で支える

保護者

子ども
選択と挑戦
個性を磨く
自立





緑豊かな周囲の景観と調和し環境先進都市を印象付ける外観デザイン

- コンクリートとガラスの近代的なファサードにCLT(木)と壁面緑化を組み合わせることで環境先進性の感じられる建物外観としています。CLT(木)は単に意匠ではなく、**耐震上有効な構造を外観に表現することで質美剛健で無駄のないデザイン**としています。
- CLTとガラス面が規則正しく交互に切り替わる外観は内部の機能的なプログラムが外観ファサードに表出したものです。
- 太陽光を取り込む大きなガラスと日除けを兼ねたコンクリートバルコニーを設け周辺環境と調和する緑豊かな外観を形成します。

「高める」「創る」「応える」「実現する」6つのコンセプト

Communication

コミュニケーションと人材育成を重視した
施設整備

施設内の様々な場所でインフォーマルなコミュニケーションを誘発するゆとりのスペースを計画します。

Health Comfort

健康性と快適性に配慮した施設整備

研修空間、執務空間だけでなく様々な環境空間を配置することで各人の健康を保ち快適に過ごせる計画とします。また、自然素材や植物を効果的に取り入れることで安心と快適性の感じられる空間をご提案します。

Flexibility

時代に合わせた教育研修内容の変更や
エリア変更に対応できる施設整備

柱の無い18mのロングスパン構造とすることで将来変化に合わせて自由に間仕切できるフレキシブルな内部空間を計画します。また、スパン毎に系統分けされた明確な設備スペースを確保することで間取りの変更や設備更新に無理なく対応できる計画とします。

Safety

大災害時にも利用者も施設機能を守る安全
安心な施設整備

大地震に対する安全性の高い施設とするため建物は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」に定める建築構造体Ⅲ類、建築非構造部材B類、建築設備は大地震動後においても機能する必要がある設備機器、配管等は、他からの波及被害を受け難いよう配慮することで、十分な耐震安全性を確保します。

Diversity

多様性に配慮した施設整備

グローバル化や情報技術の革新に伴って訪れる社会構造や雇用環境の変化に柔軟に対応できる施設を整備します。

Eco-friendly

環境配慮による省エネ、省CO2、省資源を
実現する施設整備

建物内で使用する一次エネルギー消費を抑える為、高断熱な外皮と高効率機器によって ZEB ready 以上の性能を確保します。また SDGs への取組の一環として木材利用促進のためCLT(直交集成板)を建物構造体に使います。CLTの構造メリットを生かし、デメリットを補うため鉄骨材を併用したハイブリッド構造をご提案します。

内観イメージパース

